

1.目的

KV-L20は、RS232C専用D-Sub9ピンコネクタ(PORT1)と、RS232C/RS422Aの切換 が可能な端子台(PORT2)の2つのシリアルポートを装備しています。 その各シリアルポートとVシリーズを接続する際の設定手順を説明します。

### 2.接続環境

モニタッチ	:	V710iS
PLC	:	K V - 7 0 0 + K V - L 2 0
使用ソフト	:	KV BUILDER Version 3.01

#### 3.設定方法

KV-L20のPORT1又はPORT2に、以下の設定で接続します。

ボーレート : 57600bps
 データ長 : 8ビット(固定)
 ストップビット : 1ビット(固定)
 パリティ : 偶数(固定)

#### <u> V - S F T の設定</u>

V - S F T を立ち上げ、新規画面を作成します。 モニタッチの機種を選択し、[0K]をクリックします。 次に、 P L C の機種を**「キーエンス KV-700 CPU」**を選択し、[0K]をクリックします。

	PLC 選択 [キーエンス: KV-700 CPU]	
編集課種 編集課種 で710S (800*600) ○K +t·ンセル		<ul> <li>▲</li> <li>▲</li> <li>★</li> <li>★</li> </ul>



テクニカルインフォメーション	No. TI-M-0016-1	2/6
----------------	-----------------	-----

「通信パラメータ」ダイアログが表示されます。 *該* **-レート: 57600BPS**、**信号レベル: RS232C 又は RS422**を設定します。

通信パラメータ 🛛 🗙
メイン1 細かい設定
信号/小ル
読込IU7 DM00000 🗰
書込IJ7 DM00050 🗰
□ 読込/書込エリア GD-80互換
カレンダ 🛛 🗊
厂 Ethernetを使用する
接続先

[細かい設定]タブの設定は、特に変更する必要はありません。

通信パラメータ			X
メイン1 細かい割	定		
接続形式	▼ 設定	相手	先局番 0 一
ハツティ	偶数 ▼	─通信異常処理── ● 停止	○ 維続
伝送形式	<b>_</b>	データ長	0.011
送信遅延時間	0 * *msec	0 76%	• 80'91
スタートタイム	0 * *sec	ーストッフでット ④ 1ビット	C 25'95
リトライ回数	3	-]- *	
タイムアウト時間	50 • *10msec	C DEC	• BCD
		- 文字処理 ④ LSB→MSB	C MSB→LSB
デジォルト	ОК	キャンセル	通用( <u>A</u> )

Vシリーズの通信設定は完了です。

テクニカルインフォメーション	No. TI-M-0016-1	3/6
----------------	-----------------	-----

# <u>KV BUILDERの設定</u>

KV BUILDER	を起動しま	す
[ <b>ツール</b> ] [ユニットエデ <sup>*</sup> ィタ] マ	を選択します	₹.
୬−ル① ዕብ/ኑን₩ ヘルን៕		
拡張ラダーモード( <u>G</u> ) 両画面連動(₩)	Ctrl+G	
ユニットエディタ( <u>U</u> )	Otrl+U	
ZI9NE°a−7(⊻)	F2	
CPU位置決めハ*ラメータ編集Ψ	F3	
MOTION BUILDER(M)	F11	
PROTOCOL BUILDER(P)	F12	
KV/KZ-350→KV-7005が-変換(	3)	
17° (a) ((1)		

オフ<sup>®</sup>ジョン(<u>O</u>)...

「コニットエディタ」が表示されます。 ユニット構成を行います。



KV-L20を選択した状態で[ユニット設定]タブをクリックします。

アナルビ 編集() 実換() 子棚設定() 表示() カフシッ() クイルウ()         日 む ジ ④ Q よ む 町 ④ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	副 編集モート・ - ユニットエディタ		
<ul> <li>● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●</li></ul>	ファイル(E) 編集(E) 変換(P) 子機設定(K) 表示(V) オブション(Q) ウ	インドウ 🕪 ヘルフ 🖽	
④ 1154am ▲(15200m ▲(15200m) ▲(15200m) ▲(15200m) ▲(15200m) ▲(15200m) ▲(15200m) ④ (15200m) ④ (15200m)	🖴 फ 🗗 🍜 📐 🗼 ங 🛍 🖻 🐢 📾 🖄 🚳	) 🐐 🛍 🐿 🖧 🕷 🖉 🖉 😘 🖞	2
The second s	0 3	ユニット構成(1) ユニット選択(2) ユニット語	贫定③
○     ○	19 1:14 Am 17 2:30 Una 19 7: 2:30 Una 19 7: 2:30 Una 19 7: 770 3: 10 1:15 Am 10 1:15	<u>項目1ユニット番号1</u> 先頭別M番号 使用DM数(*) 先頭りルー番号(ch単位設定) 使用リル-点数(*) 本 <sup>*</sup> -しト デ <sup>*</sup> -しト デ <sup>*</sup> -しト デ <sup>*</sup> -しト デ <sup>*</sup> -しト デ <sup>*</sup> -りた れ <sup>*</sup> -1 私 <sup>*</sup> -1 <sup>*</sup>	<u>設定値</u> 要設定 1 32 KVモート <sup>2</sup> (上位リンク)(*) RS-2320(*) 9600bps(*) 8t <sup>2</sup> →h(*) 1t <sup>2</sup> →h(*) (*) (*) (*) (*) (*) (*) (*)
<u>段   番   番号   メゥセージ                                      </u>	< · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	רראניג	RC=499A(*)
	段 番 番号 メッセージ		

Co., Ltd.

No. TI-M-0016-1 4/6

# ユニット設定を行います。

# PORT1で接続する場合

動作モード	:	KV BUILDER
インタフェース	:	RS-232C
ホーレート	:	自動
データビット長	:	8
スタートヒ゛ット	:	1
ストップビット	:	1
パ゚リティ	:	偶数
<del>チェックサ</del> ム	:	なし
RS/CS 70-制御	:	しない



## PORT2で接続する場合

動作モード	:	KV BUILDER E-F	
インタフェース	:	RS-232C 又は RS	-422A
局番	:	0	
ホ゛ーレート	:	自動	
データビット長	:	8ビット	
<b>ス</b> タートビット	:	1 ビット	
<b>ストップ ヒ</b> ゙ット	:	1 ビット	<b>副 編集</b> 日 ファイル(E)
パ゚リティ	:	偶数	<b>.</b>
チェックサム	:	なし	幅:164mm 高さ:90mm 奥行き:80m 消費電流:4

● 雪集モード - ユニットエディタ ファイル(E) 編集(E) 変換(E) 子機設定(E) 表示(M) オフジルン(D) タイン	+"⊅(₩) ~11,7°( <u>H</u> )	
🖶 🌇 🗗 🎜 🖪,   X 🖻 🖻,   E' 🕸 🚳 🖬 🖿 🍅 🚳 🤅	🚛 😫 🖧 🏜 💹 🌽 😘	?
111540m 二日1540m 二日1540m 二日本市会主2475a 単重 2773g	ユニット編択()         ユニット編択()         コニット編択()         ゴ           項目         ユニット編択()         ゴ         ボ         ボ           スラトビット ストンビット ストンビット キャングシムー前向         ボーンジット オージンジッム・前向         ボ         ボ         ボ           ブ         オ・シンジット オージンジッム・前向         ボ	に A設定 ② 設 定 値 8 ピット(*) 1 ピット(*) 1 ピット(*) (*) (*) (*) (*) (*) (*) (*)
	局番 * 「・」レート デ (・・」リビ つい長 スタートビ つト ストップ ビ っト ハ リティ チェックサム	0(*) 自動 8ビ*ット(*) 1ビ*ット(*) 1ビ*ット(*) 偶数(*) なし(*)
段 審 審号 メッセーリ'		752-2001



テクニカルインフォメーション	No. TI-M-0016-1	5/6
		070

設定が完了したら、[ファイル] [保存して終了]を選択し、「エディタ」に戻ります。



[モニタ・シミュレータ] [変換 転送 モニタ]を選択し、設定した内容を転送します。 プログラム、コメント等も全て転送する場合は、全てチェックを入れます。ユニット設定情報のみの場合 は他のチェックを外しかてら[実行]をクリックします。

	フログラム転送 🔀
モニタ・シミュレータ(M) 変換(A) 表示(V) ツール(1)	□ 転送エリア
PLC通信パラメータの設定(T) ト	▼ 22->ト設定情報(U)
PLC本(本モニタ( <u>M</u> ) Ctrl+F1	▼ 7°ロゲ 3+行コメント(L) (6文字以内)
変換→転送→モニタ( <u>W</u> ) Ctrl+F8	עלעבאליא לעבאליע ( <u>כ</u> )
PLCからのプロケラム読み出し(R) Ctrl+F5	→ 位置決めパラメータ(M)
PLCフロゲラムとの照合(V)	
パスワ−ド設定(₽)	エット設定情報にJSJNは、PLG/J7 U9 74モト ではいと書き2400 ません。
オコライルデバイス得生(D)	
	□ プロヴラレモードにして転送(P) 実行 中止
ジミュレータ( <u>S</u> ) Otrl+F2	

転送が完了すると、以下の「ダイアログが表示されます。[OK]で閉じます。



以上でKV-L20のユニット設定は完了です。



テクニカルインフォメーション	No. TI-M-0016-1	6/6
----------------	-----------------	-----

4.接続



\*ツイストシールド線使用

PORT2の場合

R S 2 3 2 C



\*ツイストシールド線使用

R S 4 2 2

Vシリーズ

D-sub 25pin(Male:凸)

K V - L 2 0 P O R T 2

FG	1			
S G	7		1	SG
+ S D	12		2	RDA
- S D	13		3	SDA
+ R D	24		4	RDB
- R D	25	$\overline{V}$	5	SDB

\*ツイストシールド線使用

**ボート2切換スイッチ** KV‐L20の側面に " ポート2切換スイッチ " が付いています。 ポート2をRS232C、RS422のどちらで使用するかを 設定するスイッチです。正しく設定してください。



お問い合わせは...

C 発紘電機株式会社 技術相談窓口 TEL: 076-274-5130 FAX: 076-274-5208

